

ないこともあり、販売は難しい状況にある。

鮮度保持タンク事故防止にFRPタンク回転機導入を

問 魚市場の鮮度保持タンクでの事故を未然に防ぐため、FRPタンク回転機を導入すべきでは。

産業振興課 県の補助事業である。魚市場から要望があれば申請を検討したい。

鯨と海の科学館 指定管理者の移行

問 鯨と海の科学館は、収入300万円、支出1200万円、900万円の赤字である。指定管理者制度への移行を考えているようだが、期待することは。

生涯学習課 社会教育施設として入館者を増やす取り組みを期待したい。指定管理者制度への移行に向けて資料を作成中である。

産業活性化推進委員会 中間報告生かされたか

問 産業活性化推進委員会は何回開催したか。また、中間報告は生かされたか。

企画財政課 19年8月に第1回目を開催し、20年度は4回、今年度は3回開いた。10月下旬に活性化策の提言集をまとめた。

中間報告で即対応できるものについては、21年度当初予算で事業化し、地域営漁計画実践事業補助金などで対応している。

ふるさと応援基金 寄付金の活用方法

問 ふるさと応援基金の寄付金をどのように活用しているか。

企画財政課 昨年は、84万2千円の寄付があった。教育関係や産業振興など、寄付者の希望に沿った形で活用している。

未登記処理実績 2件では少ない

問 未登記711件中、処理実績が2件というのは、少ないのでは。

企画財政課 未登記処理は、土地の所在の特定が困難なことや相続されていないことが多く、関係する大勢の皆さんから承諾が必要になるため時間がかかる。

福祉灯油支援事業 今年も実施するか

問 灯油高騰対策緊急特別支援事業は、今年度も実施するの。また、昨年の実績は。

保健福祉課 実施については未定。昨年は、対象世帯の97%に当たる1203世帯に給付した。

新型インフルエンザ 町民に情報の提供を

問 新型インフルエンザの情報、できるだけ町民に知らせてほしいが。

保健福祉課 広報などで予防法について周知している。万が一、熱やおう吐などの症状がでた場合は、受診する前に、まず医療機関へ電話し、医療機関の指示に従って行動してほしい。

母子家庭入学奨励金 父子も対象にしては

問 母子家庭児童生徒入学奨励金については、父子家庭も対象にしては。

町長 現在、対象となっていないが、前向きに検討したい。

歯を大切に事業 継続して実施すべき

問 20年度は、国のモデル事業で、子どもの健康を守る事業を実施し、歯の大切さを伝えた。町として継続実施すべきでは。

教育長 本町の児童生徒には虫歯が多い。歯を丈夫にしてご飯を食べることが健康につながることから、本年度も年2回の検診を実施する。このことについては、他市町村に例の少ない配慮である。



指定管理者制度への移行が待たれる「鯨と海の科学館」